

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年 11月 (個別での文章集約)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 山下・廣島・背戸・吉田・小原・山本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	11人	4人	3人	21人

前回の改善計画

- ・意識的に利用前のミーティングの時間を作り、情報共有を強化 (迅速・正確) する。利用開始後も少なくとも1か月はサービスやケア内容を議論し関係性の構築に努める。
- ・課題中心な議論だけでなく、本人が出来ることやしたい事を大切にする。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・新規の事前情報はミーティング等で少しずつではあるが共有できるようになっている。過去に介護サービスの利用歴のない利用者はサービス開始後に課題が見つかることが多い。
- ・利用開始後も関係構築に努めている。情報収集を意識し、共有してケア内容の議論と実施ができています。
- ・どうしても課題中心な議論が多いが、その中でも個別の取り組みなどうまくまれているので次に発展させたい。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	7	7	2	5	21
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	6	12	0	3	21
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	8	9	0	4	21
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	5	8	3	5	21

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・CMと介護担当が中心となり、協力して新規アセスメントに取り組むことが少しずつ出来ている。CMが利用開始前にミーティングで情報提供をおこない、資料を読むだけではない職員への情報共有が出来た。利用開始期には関係構築に努め、利用者や家族の不安なども取り除きニーズを引き出せるようなアプローチができています。また、職員個々で情報収集の意識が高まっており記録等で共有できるようになっている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・事前情報を発信していても、資料の読み込みとケース把握には職員によってムラがあった。また、利用前に利用時を想定した援助の議論ができていない。
- ・利用開始後の意見集約と共有はやや不足する時もあった。ミーティングで情報共有するが、その日の出勤者以外への周知に関しては弱い面もある。
- ・利用開始後も情報収集はするがそこからのケア展開が不十分なこともある。職員それぞれの視野を広げていくことが必要。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

- ・利用前と利用開始後すぐの両方のミーティングを実施し、ケアマネや介護担当が情報伝達し、援助内容の議論を深める。
- ・利用開始後の初日と一週間後に様子や今後の援助の方向性を介護担当が統括して記録化を行う。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年 11月 (個別での文章集約)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 山下・廣島・背戸・吉田・小原・山本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	9人	5人	4人	21人

前回の改善計画

- ・該当利用者をあらかじめ決め介護担当者が目標や過ごし方について掘り起こす。それを文章と口頭での周知を行い全職員で共同して実施していく。
- ・会議やミーティングで一人にスポットを当てて議論し、本人の希望や目標を話し合う機会にする。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・利用者の対応に関する課題は、職員アンケートを行い意見集約して対応を検討することが出来た。
- ・会議が感染症で文章周知になることも多く、職員同士の意見交換の場が限られていた。ミーティングなどでは職員が感じる利用者の気になる点や気づきが共有されケアにいかされていた面もある。しかし課題中心の議論になりがちで本人の希望や目標を深く議論する機会は少なかった。
- ・ミーティングで議論し、ケース記録や連絡ノートで伝達すると一定期間は出来ている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	3	8	5	5	21
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	3	9	4	5	21
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	2	8	6	5	21
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	2	10	5	4	21

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・ミーティングでの共有は意識を高く持っている職員中心に発信を継続してくれている。・本人の言葉にならない思いにも目を向け、願いを探ろうとコミュニケーションをとることができている。そこからケアに反映していることもある。チームとしてそれを大切にする土壌がある。
- ・ミーティングで出た意見は課題の改善に活かされている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・意思疎通が難しい方に対してのコミュニケーションが弱い。言語だけではない多角的なコミュニケーションスキルの向上があればもっとその方を知ることが出来るのでは。
- ・希望や目標をチームとして深めていくことができていない。希望や目標を深く捉えることを目的意識化できていない。利用者に関わる時間が少なく、コミュニケーションが不足するときがある。「本人の～したい」という気持ちがあっても金閣の枠の中に閉じ込めて、その気持ちを尊重できていない場面がある。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

- ・コミュニケーションスキルの研修や学習会を実施。それを伝達研修して、様々な視点からの本人の思いを知るスキルを得る。
- ・日々のミーティングの内容をただの引継ぎではなく、個別の希望や目標に沿って議論にできるよう委員会でミーティング内容を決める。

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	9人	7人	3人	21人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> 調理レク等を金閣で行い、利用者の生活力を高めたい。 各担当により改めて一人ずつ本人や家族に以前くらしや自宅での過ごし方について聞き取り、業務ノート、ミーティング、口頭、回覧のツールを使い発信し、全職員共通の理解にする。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ミーティングで個々の利用の生活歴までを深め合う議論は継続しては行えていなかった。しかし、会話の中から引き出したことは記録に残し、職員で共有することは一部できた。 調理レクは実施し、普段と異なる活気ある様子を見ることができた。しかし感染症の影響で限定的になっている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	1	4	8	8	21
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	8	9	1	3	21
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	3	10	3	5	21
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	8	9	2	2	21
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	5	13	2	1	21

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 小規模の武器である日々の体調変化への気付きは非常に細やかな目線で観察や対応が出来た。 歩行の職員の付き添いに関して、意見集約し援助の統一化できたことは今後ほかの援助にもいかせられる印象。 自宅での生活を正確に小規模利用時の過ごし方に反映させることはできていないが、好きなことに取り組む場を設け、他利用者と交流の機会をもてるように施設内で日常生活の支援を行うことが出来ている。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 援助に対して、自身で出来ることまでも援助をしてしまう事は多くあった。実際に本人は出来るのかどうかを客観的に評価することが必要。支援がパターン化してしまっている。どうしても施設のやり方や型にはめようとしてしまっている面がある。 本人のこれまでの普段の暮らしを把握することが難しく、現在の生活が本来の生活なのか分からない。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> 職員の援助の統一を実施する。本人の思いも含めた援助内容を会議等で検討し対応を決定していく。 利用開始期のアセスメントとして以前の暮らしや本人が大切にしていたことなどを聞き取る。 日々家族や本人にどのような生活を送りたいと思っているのかを引き出していく。その情報を皆で共有する。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年 11月 (個別での文章集約)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 山下・廣島・背戸・吉田・小原・山本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	6人	6人	8人	21人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> サービス開始期に事業所のサービスが過多になり、本人の出来ることや社会資源との関わりを絶たないような初期プランを意識して作成する。援助開始後に関わりを持つ中での迅速な調整を心掛ける。 コロナ禍でも行える地域との関わりを事業所として検討を行う。地域資源についての学習の継続。近隣の地域の役員の方に聞き取りを行う。 「1人の利用者に1資源活用。といったテーマをもって確実に一歩ずつ援助を深める。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> 家族の協力を得ながら援助することは意識高く関わられた。 地域資源の活用は感染症の影響は大きく、非常に難しい状況は継続している。 サービスが過多にならないように意識付けできている。また、使っていた地域資源を大切に、継続して利用できるようにプラン立てできている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	1	10	4	6	21
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	1	11	3	6	21
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	2	6	7	6	21
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	1	3	10	7	21

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 感染症の影響で新規の社会資源や関わりを増やせたとは言いがたいが、これまでの関わりのあった社会資源や地域との関わりは大切に関わられた。事業所ですべてやろうとするのではなく、本人を取り巻く地域資源(主に買い物するお店等)を活用するように意識できている。 本人と家族を総合的に捉え家族への視点ももちながら援助を考え実施できていた。コミュニケーションを充実させ家族への信頼を高めそのことで援助がより充実していたケースもあった。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 感染症の影響で、家族ですら本人に会うのを控えるなど避けがたい関係性の希薄さは生まれた。 地域資源の把握ができていないと感じる職員が多い。地域資源の認識がチームとして確立できていない。 事業所と地域の接点が非常に薄く、地域社会での立ち位置が非常に曖昧である。家族以外との地域資源との関わりが乏しい。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> 新規のアセスメントシートに社会資源を追加し面接時や相談援助中に聞き取れた内容を記載し、相談時にも聞き取り行えるようにする。また、個々の社会資源を介護計画に記入し、再周知を継続的に行っていく。 地域資源の学習会の継続。利用者ごとにどのような地域資源を活用できるか考え、会議等の場面で共有する。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年 11月 (個別での文章集約)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 山下・廣島・背戸・吉田・小原・山本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	3人	6人	7人	5人	21人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・前任のCMからどのような社会資源を活用されていたかを引き継いでいく。 ・地域資源の学習会の継続。資源をどう活用化するまで視線を発展させるきっかけにする。コロナ禍の中でも発揮できる支援方法を考える。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・前任CMや病院相談員、地域包括の職員からの引継ぎ時には意識して聞き取る機会は増えた。 ・社会資源の学習会は文章開催で実施。直接的な意見交換は出来なかった。 ・どのような社会資源を活用されていたのか引き継いでも、コロナ禍において関わりの継続が困難な場合もある。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	2	3	10	6	21
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	5	12	0	4	21
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	6	10	4	1	21
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	7	12	1	1	21

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・家族や他の社会資源が分かっているならば、情報を共有し一緒に援助を行う姿勢は定着している。情報を共有した上での妥当かつ適切な援助は提供されている。 ・柔軟な支援は時間や定期的のサービスに関わらず、必要な支援を迅速に行っている。関係機関とも連携しながらサービスを提供できている。本人の変化を共有し臨機応変に対応できている。緊急性のある連絡にも対応出来ている。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・訪問の出来る時間など体制上難しい時間があり、事業所の人手の割ける時間での訪問援助など完全に利用者が希望する時間には援助が難しいこともある。 ・自分たちの事業所だけで考えてしまっている面がある。利用者の生活と地域資源がどう結びついているかを考える機会が少ない。地域資源の活用という意識が低く、サービス優先になってしまっている。地域資源の活用が後回しになってしまっている。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・ニーズと支援の提供体制の擦り合わせをCMと介護担当との意見交換を強化する。ともに考えチームとしてケア内容を検討する体制をさらに強めていく。 ・サービスを先に決めるのではなく、地域資源でカバーできないかという視点をまず持つように意識する。家族に地域との繋がりがあったか情報収集していく。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年 11月 (個別での文章集約)

6. 連携・協働

メンバー 山下・広島・背戸・吉田・小原・山本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	6人	5人	7人	21人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶が出来る関係を意識して続け、金閣での存在を知ってもらう。 ・有事の際にはいつでも協力できる関係作りを継続。 ・コロナ禍でも出来る地域との関わりを模索する。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症の影響で地域の方と一緒に行事などは出来ていないが、お互い気持ちのいい挨拶が出来る関係は維持されている。 ・地域ケア会議がオンラインで実施されるなど、新たな関わり方の転換期には参加することが出来た。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関 (医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所) との会議を行っていますか?	4	1	3	13	21
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	2	3	0	16	21
③	地域の各種機関・団体 (自治会、町内会、婦人会、消防団等) の活動やイベントに参加していますか?	2	0	1	18	21
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	1	1	2	17	21

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・CMや役責中心に参加は出来ている。感染症流行期にもオンラインでの連携・協働が行えるよう、オンラインの地域ケア会議や事業所連絡会に参加することが出来た。 ・近隣住民との挨拶は出来ている。地域の中にある事業所という意識が芽生えてきている。 ・地域のお花屋さんやお菓子屋さん等でものを購入することで関係性を維持することが出来ている。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・CMや役責が地域や関係機関との関わりを持つことが多く、報告や回覧を徹底して出来ていなかった。また、それを全職員が間接的にでも関わっていると実感が持てていない。単に文書の回覧ではどこか他人事のように感じてしまう側面があり、課題は継続している。 ・地域包括拠点となることはできていない。どうすれば地域拠点として外にアピールできるのか知識を持ち合わせていない。 ・コロナ禍において地域各種機関・団体は往々にして活動やイベントの開催を自粛しているところが多く、参加が困難。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・感染症が落ち着いた時期には社会活動再開の兆しが見られる。以前からの顔を合わせる関係づくりとオンラインでの関わり方の模索など、多角的な連携・協働の場に参加する。また、地域ケア会議や事業所連絡会等の会議の情報を報告・周知する。 ・地域における金閣の役割を議論する機会を設ける。地域との繋がりを文章化し周知していく。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年 11月 (個別での文章集約)

7. 運営

メンバー 山下・廣島・背戸・吉田・小原・山本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	1人	6人	12人	21人

前回の改善計画
・地域の中での事業所という意識を持ち、地域の行事が再開し、まずその行事への参加から始める。情報や活動などは感染症対策をしながら参加していく。
前回の改善計画に対する取組み結果
・行事自体が限定された規模になっていることや中止されることなど関われる機会はほぼなかった。 ・地域の中での事業所という意識は低い。地域との関りは薄く模索していく。 ・コロナ禍のため地域の行事の開催がなかった。 ・地域の行事は軒並み自粛傾向にあり、地域と利用者が関わりを持つのは極めて困難であった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているか?	4	7	7	3	21
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	5	10	3	3	21
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2	6	6	7	21
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	1	4	6	10	21

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・地域の方がボランティアを希望されて受け入れるなど地域での認知度は向上していると実感できた。 ・利用者、家族の意見は反映することができている。職員も意見を聞き取り共有することができている。意見や苦情があった時には、すぐに報告し、解決方法の相談ができている。解決しようという職員の意識も高い。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・拠点としての地域共働の活動はほぼ出来ない。地域の中での事業所の役割について議論を深めることができていない。地域に開かれた運営という点は弱い ・事業所だけでなく施設を拠点として何が出来るかと議論もする場を持つ意識が欠けていた。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・地域と拠点としてどうかかわることが出来るか、役責での会議での場の議論を開始する。またチームとして地域での役割や何が出来るかについて意見交換する機会を増やす。 ・感染症が落ち着き、地域の行事が再開すれば、地域の行事にまず足を運ぶ。それを単発で終わらせずに、継続する。地域行事に参加する職員を増やす。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年 11月 (個別での文章集約)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 山下・廣島・背戸・吉田・小原・山本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	4人	6人	10人	21人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・法人内研修の参加を役責中心に促しを強化する。 ・外部研修に出にくい状況にあり、職員会議内の学習会の参加を促す。学習会の在り方も検討する。 ・今後、普及されるであろう「オンライン」研修や学習会に備えた環境を整える。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・研修は多くが中止されたことが大きい。ただ、オンラインに対応した研修などには、苦手意識から対応が遅れて積極的な参加が出来ていなかった。オンラインの環境整備はできた。 ・職員会議がほとんど文章開催になってしまったが、学習会資料としては担当が継続して資料を作成し周知に努めることは出来た。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	1	4	5	11	21
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	3	1	3	14	21
③	地域連絡会に参加していますか	2	1	1	17	21
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	2	9	3	7	21

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・事業所内の会議には数回しか実施出来ない中、職員間の意思疎通は妥当なレベルを維持することが出来た。日々の職員間の思いやる気持ちは大切に出来ている。 ・地域ケア会議、圏域事業所連絡会に参加できている。 <p>事故があった際には事故記録を作成し振り返りと改善策をたて実施。リスクマネジメントは少しずつできている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職場内の学習は担当の資料作成と配布にて継続できた。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・地域の関わりがどうしても役責中心になり、職員への周知までを意識的に取り組む姿勢が足りなかった。アンケートにあるようにほとんど出来ていないと評価する職員が多いのも、周知の不足が大きいと反省している。 ・研修、学習への参加もできていないと感じる職員が多い。感染症の影響もあるが、職員周知や情報提供が弱い。 ・非常に研修には参加できにくい状況。中止も多く、研修の計画を立てることが難しかった。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・地域ケア会議や圏域事業所連絡会、その他研修を全職員へ周知するまでをゴールとして参加する。資料の回覧やミーティングでの報告を欠かさず行い、事業所を代表して参加している意識を持つ。参加していない職員も我が事として報告を共有していく。 ・できるだけ多くの職員が研修に参加できるよう計画をたて実施していく。また、法人内の学習会(出張学習会)も活用していく。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年 11月 (個別での文章集約)

9. 人権・プライバシー

メンバー 山下・廣島・背戸・吉田・小原・山本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	11人	4人	3人	21人

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none">・個人情報の取り扱い、接遇についての学習会の継続。輪番制を継続し、自ら考える機会を作る。・部研修再開時には人権について学び伝達研修を完了するまでを研修受講の目的として受ける。・員上の都合や業務上の都合でプライバシーの確保が出来なくなるために常に意識できるように文章等にして掲示をする。
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none">・学習会の担当は安定して輪番制を回せた。資料内容に対して議論できるとさらに良かったが、会議の形態が文章開催になった点は影響が大きかった。・個人情報の取り扱い注意の意識はあるものの、利用者に関するメモがフロアに掲示されていることもあり、徹底はできていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	14	7	0	0	21
②	虐待は行われていない	15	6	0	0	21
③	プライバシーが守られている	8	11	2	0	21
④	必要な方に成年後見制度を活用している	7	11	2	1	21
⑤	適正な個人情報の管理ができている	8	12	1	0	21

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">・権利擁護の学習会が継続してできている。職員個々の権利意識も高い。利用者の権利を尊重した援助が出来ている。・利用者の権利を守るため、行動を制限するのではなく、何故その行動をとろうとするのか背景を探り、寄り添おうとする意識を持つことができている。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">・全職員が利用者の生活や人権を守っているという意識は不足している。業務分担を行う中でそれ以上の関わりを積極的に持っていく必要がある。・個人情報の取り扱いへの配慮が欠けている。意識が甘い。利用者の個人情報が記入されたファイルを目にされることがある。利用者の対応とファイル管理の両立が難しい面もある。・職員間で情報共有時に利用者の耳に入ってしまった事もある。配慮が未だ不十分。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	<ul style="list-style-type: none">・業務の担当や出勤日数に関わらない、共通意識を持てるチーム作りを行う。常勤でのチームを作り、情報や意識共有をより多くの職員で行える取り組みを検討実施していく。・人権意識とプライバシー保護の向上の学習会を継続。・個人情報に掲載されているファイルや資料の管理方法を見直す。